

# arara

## 2023年8月期第4四半期 決算説明資料

アララ株式会社  
東証グロース：4015

2023年10月13日

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 決算ハイライト
3. 来期計画について
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 決算ハイライト
3. 来期計画について
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

1. 6月20日に上方修正した通期連結業績予想に対し、  
売上高は**104%**、EBITDAは **111%**を達成

---

2. CP社<sup>注1</sup>の子会社化<sup>注2</sup>により、デジタルサイネージを活用したり  
テールメディア及びマーケティング関連事業を強化

---

3. みずほ銀行をアレンジャーとするシンジケートローン<sup>注3</sup>の実行によ  
り、借入金の借り換えにより財務状況を健全化

---

4. インド市場において、デジタルギフトのディストリビュータービジ  
ネスを拡大し、インドの約5億人の消費者へアプローチ

---

(注) 1. 株式会社クラウドポイント

(注) 2. 契約の詳細については2023年10月13日開示の「株式会  
社クラウドポイントとの株式交換契約締結及び経営統  
合に関する合意書の締結、吸収分割による持株会社体  
制への移行について」をご参照ください。

(注) 3. シンジケートローンの詳細につきましては、  
2023年8月29日開示の「資金の借入（借換）に関する  
お知らせ」をご参照ください。

## 2023年8月期4Q 連結業績概況

売上高／前年同期（単純合算）比

**4,476**百万円 / **+1,230**百万円

- 前年同期比は、当社とバリューデザインの前年度4Qの売上高の単純合算との比較。前年同期比で+38%増加
- 主な増加要因は、変則決算によるバリューデザインの14か月分連結の影響、マイナポイント関連売上増、決済手数料売上増

EBITDA／前年同期（単純合算）比

**497**百万円 / **+610**百万円

- 売上高の順調な伸長及び、経営統合による業務委託費やサーバー費用等の原価・販管費の削減効果などにより想定を上回る結果

※アララとバリューデザインの前年度EBITDAの単純合算との比較  
 ※EBITDAは営業利益と減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）の合計

売上高達成率／EBITDA達成率

売上高達成率

**104.1%**

EBITDA達成率

**110.6%**

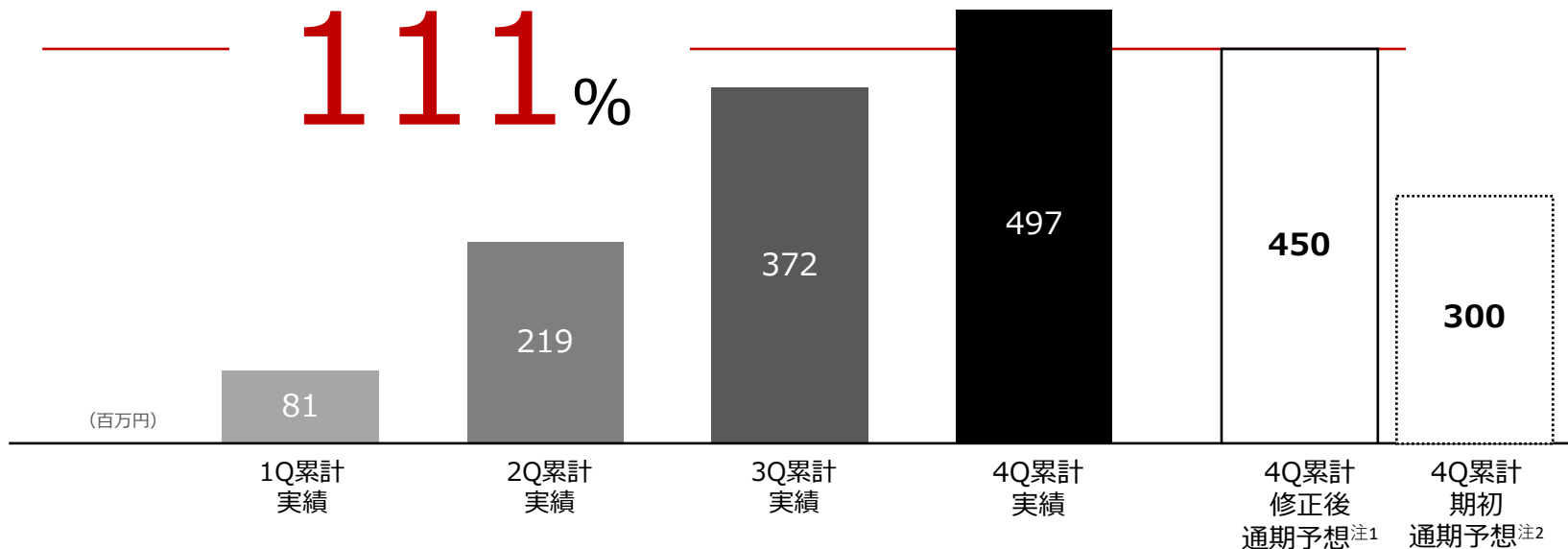
- 2023年8月期の修正後通期連結業績予想は、売上高 4,300百万円、EBITDA 450百万円
- 売上高及び、EBITDAは修正後通期連結業績予想を達成

## 2023年8月期の予想EBITDAに対する実績

第4四半期に来期以降の業績拡大に向けて、積極的な投資を実行した後、通期業績予想450百万円に対して111%となる497百万円を計上し、業績予想を達成。期初業績予想300百万円に対する達成率は166%となる。

修正後通期予想比：

111%



(注) 1. 2023年6月20日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の修正後予想  
 (注) 2. 2022年10月14日公表の「2022年8月期 決算短信（日本基準）（連結）」に記載の通期連結業績予想

# みずほ銀行をアレンジャーとするシンジケートローンの実行

株式会社みずほ銀行をアレンジャーとする金融機関との間で、総額 10 億円を借り入れるシンジケートローン<sup>注1</sup>を実行。本借入によりみずほ銀行からの借入金14億円の借り換えを実行することで、当社グループの財務状況の健全化を図る。

## 貸借対照表の主要な影響

(単位：百万円)	2023年5月末 (連結)	2023年8月末 (連結)	前四半期比較
流動負債	2,384	1,134	▲1,250
有利子負債	1,562	312	▲1,250
内、みずほ銀行 注2 等からの借入	1,400	200	
固定負債	329	1,103	774
有利子負債	154	934	779
内、みずほ銀行 注2 等からの借入	-	800	
純資産	1,950	2,163	212

## (抜粋) シンジケートローン契約の概要

組成金額	10 億円
契約締結日	2023 年 8 月 29 日
契約実行日	2023 年 8 月 31 日
融資形態	シンジケート方式によるタームローン
返済期日	2028 年 8 月 31 日
利率	TIBOR +1.35% (年率)
返済方法	元金均等返済 (全 10 回)
アレンジャー	株式会社みずほ銀行
参加金融機関	株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社りそな銀行

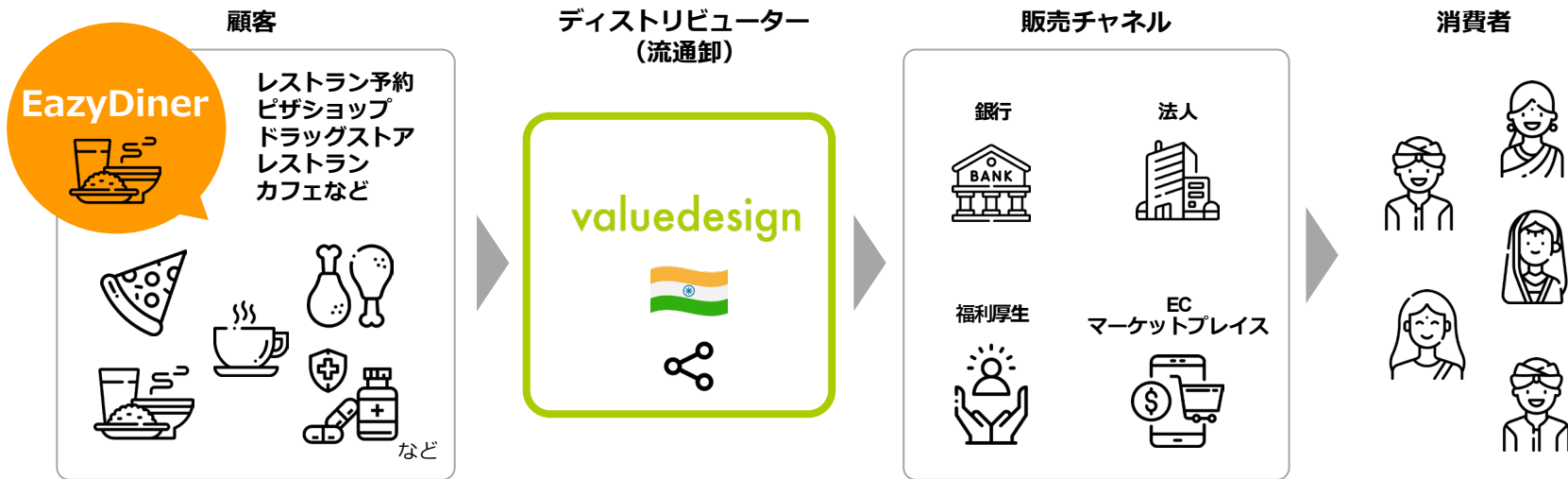
(注) 1.シンジケートローンの詳細については2023年8月29日開示の「資金の借入（借換）に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 2. 「みずほ銀行等からの借入」にはシンジケートローンによる借入分を含めております。

# 12,000店舗以上の連携レストランで利用可能なデジタルギフトの提供を開始

インド大手のレストラン予約サービスを手掛けるEazyDinerと連携。

顧客の選択肢を増やし魅力を高めるとともに、代理店・販売チャネルを拡充することで、ギフトカード発行企業がより多くの消費者へリーチでき、ビジネスを拡大できるよう支援。



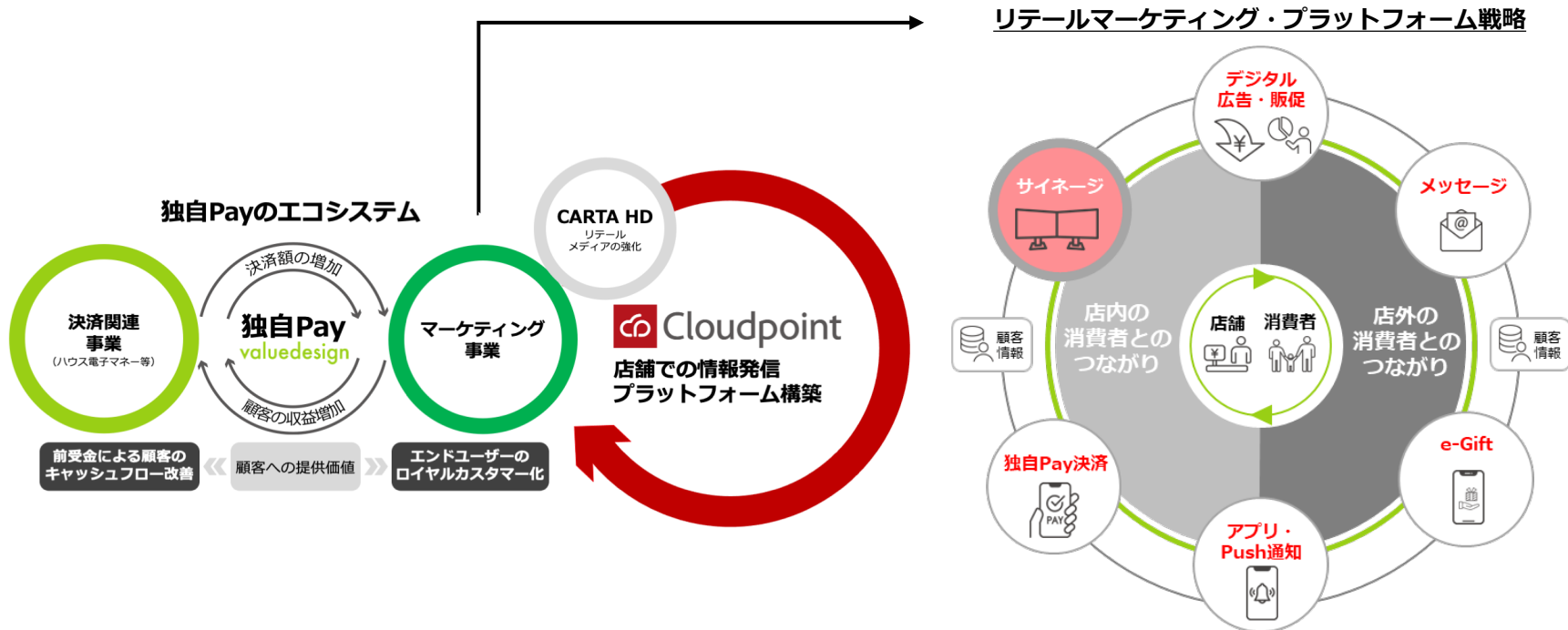
独自のネットワークを活用し、インドの約**5億人**の消費者へアプローチ



# クラウドポイント社の子会社化

「独自Pay」のエコシステムの加速にむけ、マーケティング事業領域を強化するため、デジタルサイネージを全国に提供するクラウドポイント社を子会社化。

店内・店外を問わず顧客が消費者との繋がりを持てるリテールマーケティング・プラットフォームを提供。



1. 連結業績及びビジネス概況
2. 決算ハイライト
3. 来期計画について
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

## 2023年8月期 通期業績概要（損益計算書）

連結売上高は前年同期の単体比で+3,310百万円(+284%)増加、単純合算比で+1,230百万円(+38%)増加。EBITDAは業績予想の450百万円を超える、497百万円を達成。

	2022年8月期 通期	2022年8月期 通期	2023年8月期 通期実績(連結注3)	2023年8月期 通期業績予想	主な要因
	(単体)	(単純合算注2)	前年同期比 (連結-単純合算)	修正後(連結)	
(単位：百万円)					
売上高	1,165	3,245	<b>4,476</b> +1,230	4,300	マイナポイント関連売上増、 決済手数料売上増
EBITDA	▲ 123 注1	▲ 112	<b>497</b> +610	450	
営業利益	▲ 160	▲ 228	<b>163</b> +391	120	バリューデザインとの統合に より業務委託費や支払手数料 等の費用削減
経常利益	▲ 1,506	▲ 1,560	<b>133</b> +1,693	-	
当期純利益	▲ 1,834	▲ 1,929	<b>114</b> +2,043	-	

(注) 1.2022年8月期のEBITDAは営業利益と減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）の合計

(注) 2.アララの2022年8月期4Q業績とバリューデザインの2022年6月期4Q業績を単純合算

(注) 3.アララの2022年9月～2023年8月（1Q～4Q）及びバリューデザインの2022年7月～2023年8月（1Q～4Q+2か月分）を連結した変則決算

## 2023年8月期 通期業績概要（貸借対照表）

みずほ銀行をアレンジャーとするシンジケートローン実行により、流動負債の有利子負債が前期末残高に対して13.5億円減少し、流動比率は207%に改善。

(単位：百万円)	2022年8月末（連結） <sup>注2</sup>	2023年8月末（連結）	前期末比較（23年8月-22年8月）
流動資産	1,776	2,349	573
現預金	1,094	1,490	396
売掛金	441	698	257
その他	240	160	▲ 80
固定資産	2,264	2,052	▲ 212
無形固定資産	2,062	1,897	▲ 165
のれん	1,182	1,044	▲ 137
投資その他 <sup>注1</sup>	202	154	▲ 47
総資産	4,041	4,401	360
流動負債	2,161	1,134	▲ 1,027
買掛金	134	349	215
有利子負債（1年内返済を含む借入金・社債）	1,662	312	▲ 1,350
その他	365	473	107
固定負債	447	1,103	655
有利子負債（借入金・社債）	259	934	674
純資産	1,431	2,163	731
<b>自己資本比率</b>	35%	<b>48%</b>	-
<b>流動比率</b>	82%	<b>207%</b>	-

(注) 1.有形固定資産含む

(注) 2.2023年8月期第2四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年8月期末に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 決算ハイライト
3. 来期計画について
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

## 2024年8月期 通期連結業績予想

2024年8月期の通期売上高はクラウドポイント社との経営統合を加味して6,900百万円、EBITDAは650百万円、営業利益は経営統合に伴って発生するのれん償却費を踏まえ200百万円と予想。クラウドポイント社は経営統合の効力発生予定日である3月1日（下期）から連結予定。

(単位：百万円)	2023年8月期 通期実績 注1	2024年8月期 通期業績予想 注2	予想・実績比較
売上高	4,476	<b>6,900</b>	+ 2,423
EBITDA	497	<b>650</b>	+ 152
営業利益	163	注3 <b>200</b>	+ 36

(注) 1. アララの2022年9月～2023年8月（1Q～4Q）及びバリューデザインの2022年7月～2023年8月（1Q～4Q+2か月分）を連結した変則決算

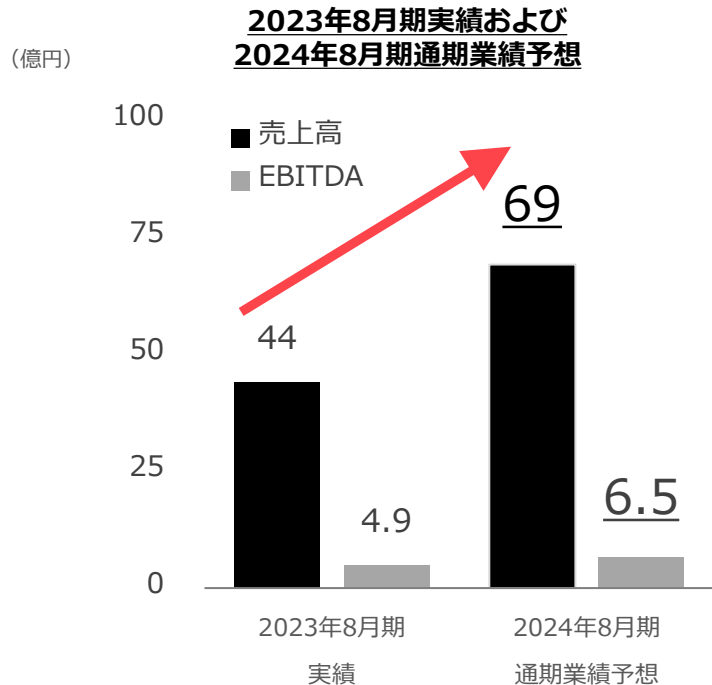
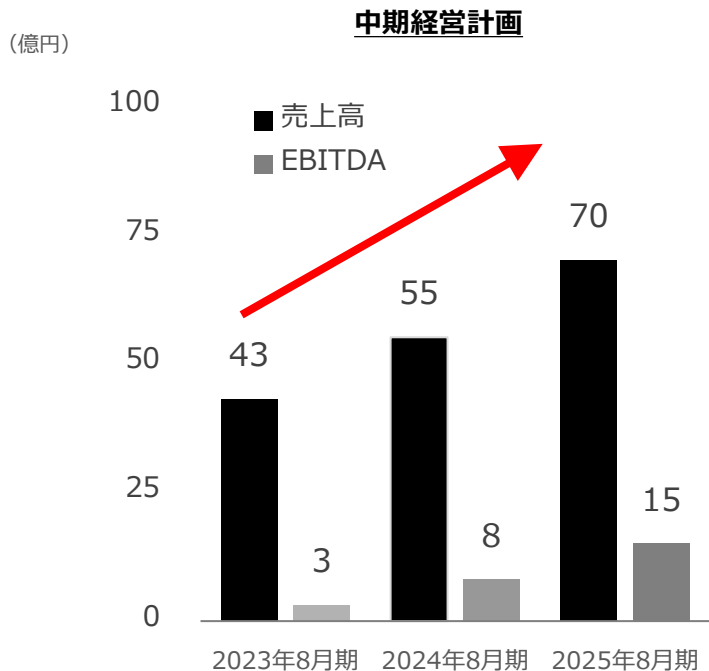
(注) 2. クラウドポイント社の業績予想値を経営統合の効力発生予定日である3月1日（下期）から合算した通期業績予想の数値を記載

(注) 3. 2024年8月期の「営業利益」につきましては、株式会社クラウドポイントとの経営統合により生じるのれんの金額が未確定であり、業績予想の数値に変動が生じる可能性があります。

なお、業績予想の数値に変動が生じた場合には、速やかに開示いたします。

# 2024年8月期 中期経営計画と通期業績予想

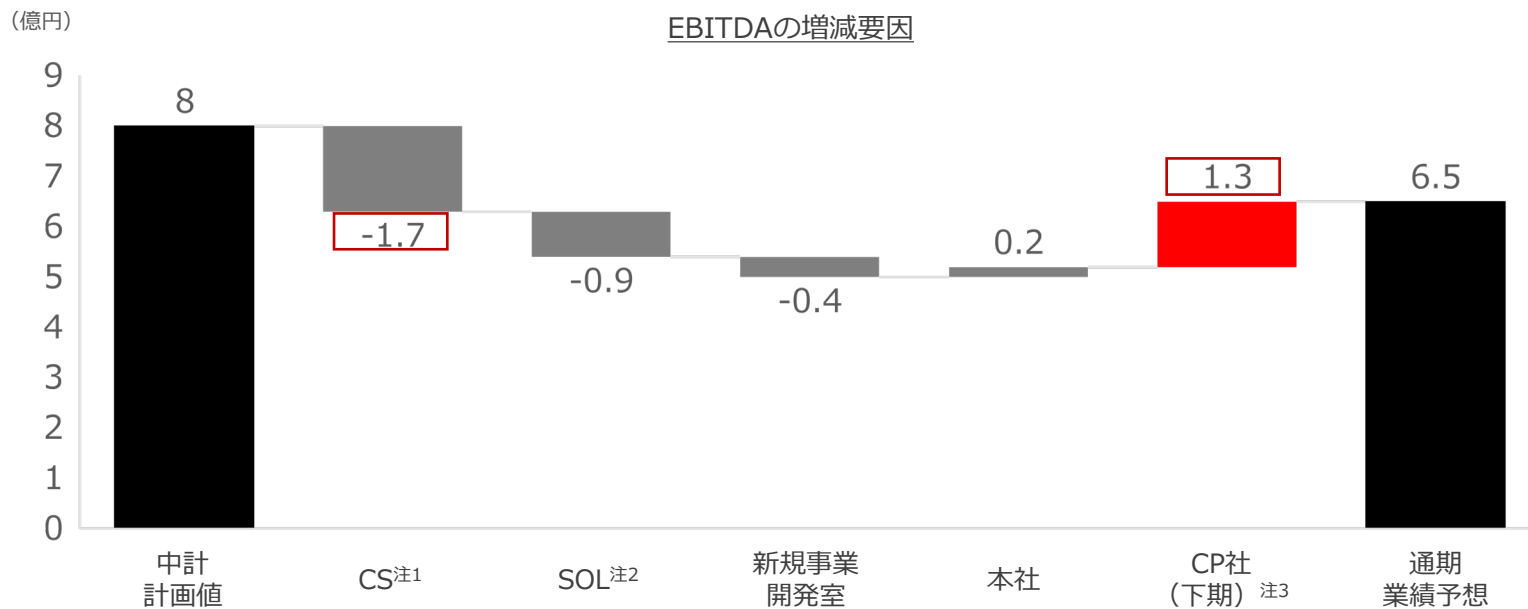
2023年8月期は中期経営計画で発表した計画値を上回る売上高44.7億円、EBITDA4.9億円を達成。  
 2024年8月期の売上高は計画最終年度の70億円に近い69億円、EBITDAは中期経営計画で発表した8億円に対して6.5億円と予想。来期以降の中期経営計画は当初計画から変更せず、達成に向けて事業を推進する予定。



(注) 2024年8月期の通期予想には、クラウドポイント社の業績予想値を経営統合の効力発生予定日である3月1日（下期）から合算した通期業績予想の数値を記載

## 2024年8月期 中期経営計画と通期業績予想のEBITDA増減要因

EBITDAは中期経営計画（中計）で発表した8億円に対して6.5億円と予想。バリューデザインにおける2024年8月期計上予定売上の納品時期の前倒しにより中計比で売上高が減少したものの、クラウドポイント社を下期から連結する予定のため、2025年8月期中計達成に向けた利益体質を構築。



(注) 1.CS：バリューデザインにおけるキャッシュレスサービス事業

(注) 2.SOL：ソリューション事業

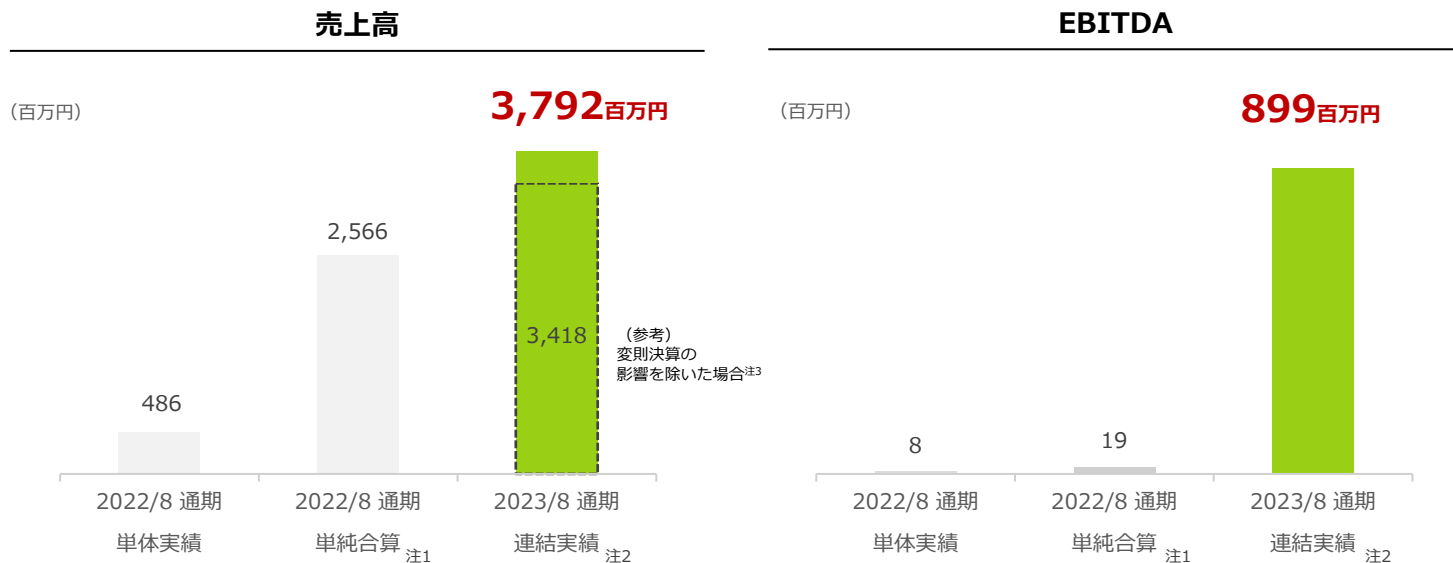
(注) 3.2024年8月期の通期予想には、クラウドポイント社の業績予想値を経営統合の効力発生予定日である3月1日（下期）から合算した通期業績予想の数値を記載



1. 連結業績及びビジネス概況
2. 決算ハイライト
3. 来期計画について
- 4. 事業別業績・指標**
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

## 2023年8月期通期 キャッシュレスサービス事業の業績

バリューデザインの変則決算<sup>注2</sup>とマイナポイント関連の売上高の増加、決済手数料の増加等により、通期売上高が前年同期の単純合算<sup>注1</sup>と比較して+1,225百万円増加。EBITDAは前年同期比で+880百万円の増加。



(注) 1. アララの2022年8月期4Qにおけるキャッシュレスサービス事業の業績とバリューデザインの2022年6月期4Qの業績を単純合算

(注) 2. アララの2022年9月～2023年8月 (1Q～4Q) 及びバリューデザインの2022年7月～2023年8月 (1Q～4Q+2か月分) を連結した変則決算

(注) 3. アララの2023年8月期4Qにおけるキャッシュレスサービス事業の業績とバリューデザインの2022年7月～2023年8月 (1Q～4Q+2か月分) の業績を単純合算

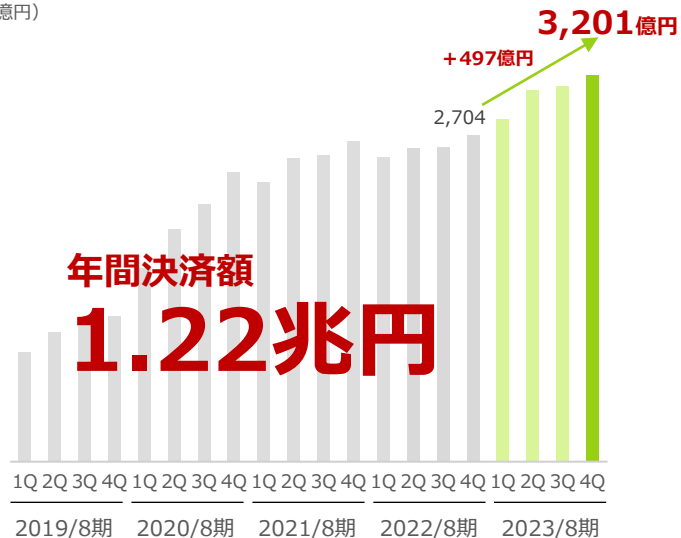
## 2023年8月期4Q キャッシュレスサービス事業の主要KPI

2023年8月期4Qの決済額は3,201億円となり、前年4Q比で+497億円増加。

年間決済額については、2023年8月期に目標としていた1.2兆円を超える1.22兆円を達成。また新規顧客獲得により、累計店舗数・累計エンドユーザー数ともに堅調に拡大。

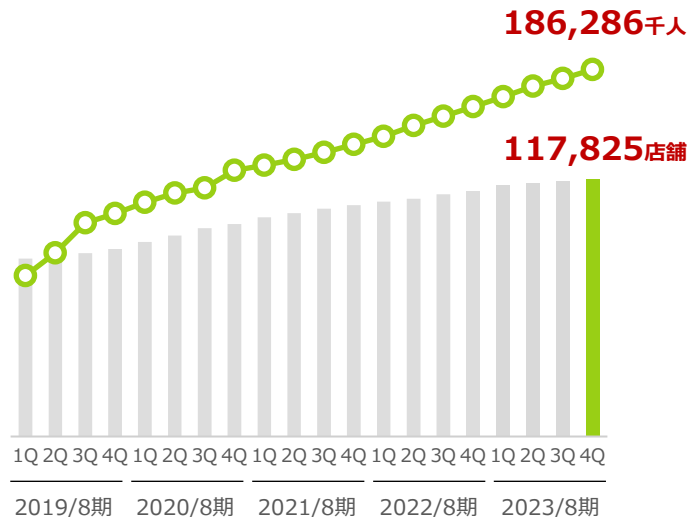
### 決済額推移

(億円)



### 累計店舗数・累計エンドユーザー数推移

(店舗：店、エンドユーザー：千人)



(注) アララとバリューデザインのKPIの合算値を記載

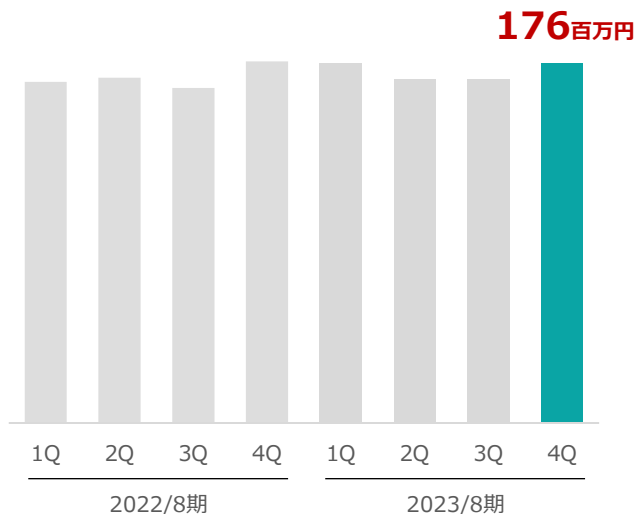
## 2023年8月期4Q ソリューション事業の業績

ソリューション事業の売上高は各サービスで堅調に推移。

メッセージングサービスの先行投資として広告販促費等が増加したことによりEBITDAは減少していたが、4Qはデータセキュリティサービス・ARサービスの売上増加などにより3Qと比較して増加。

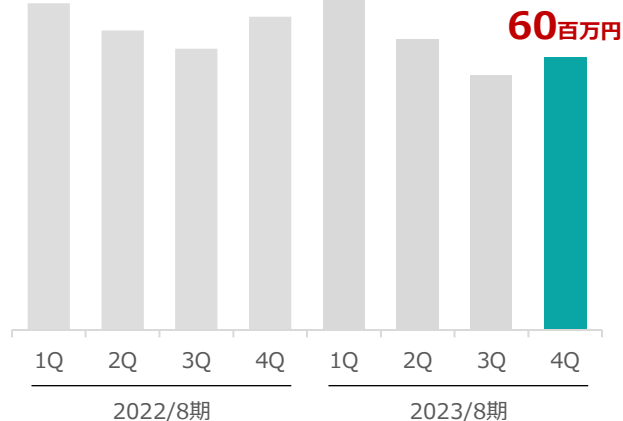
### 売上高推移

(百万円)



### EBITDA推移

(百万円)



1. 連結業績及びビジネス概況
2. 決算ハイライト
3. 来期計画について
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

## クレジットカード決済によるオンラインチャージ開始

「Value Card」へのクレジットカードチャージを可能にするクレジットカード決済サービスの提供を開始。

クレジットカード会社と事業者間の個別契約では高い手数料率が設定されるが、当社グループが一括契約することで、大企業に近い手数料率で中小事業者へクレジットカードチャージの提供が可能となる。



### 【従来】

- ・クレジットカード会社との個別契約が必要
- ・中小事業者は大企業に比べて高い手数料率



### 【本サービス利用時】

- ・独自Payを提供する事業者に対し、大企業に近い手数料率でクレジットカードチャージを提供

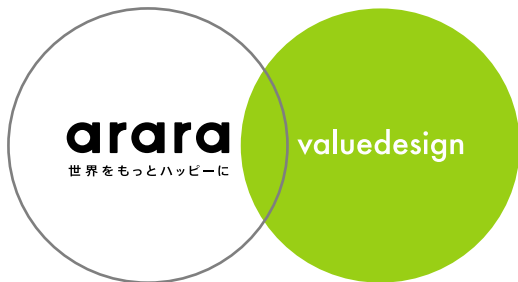
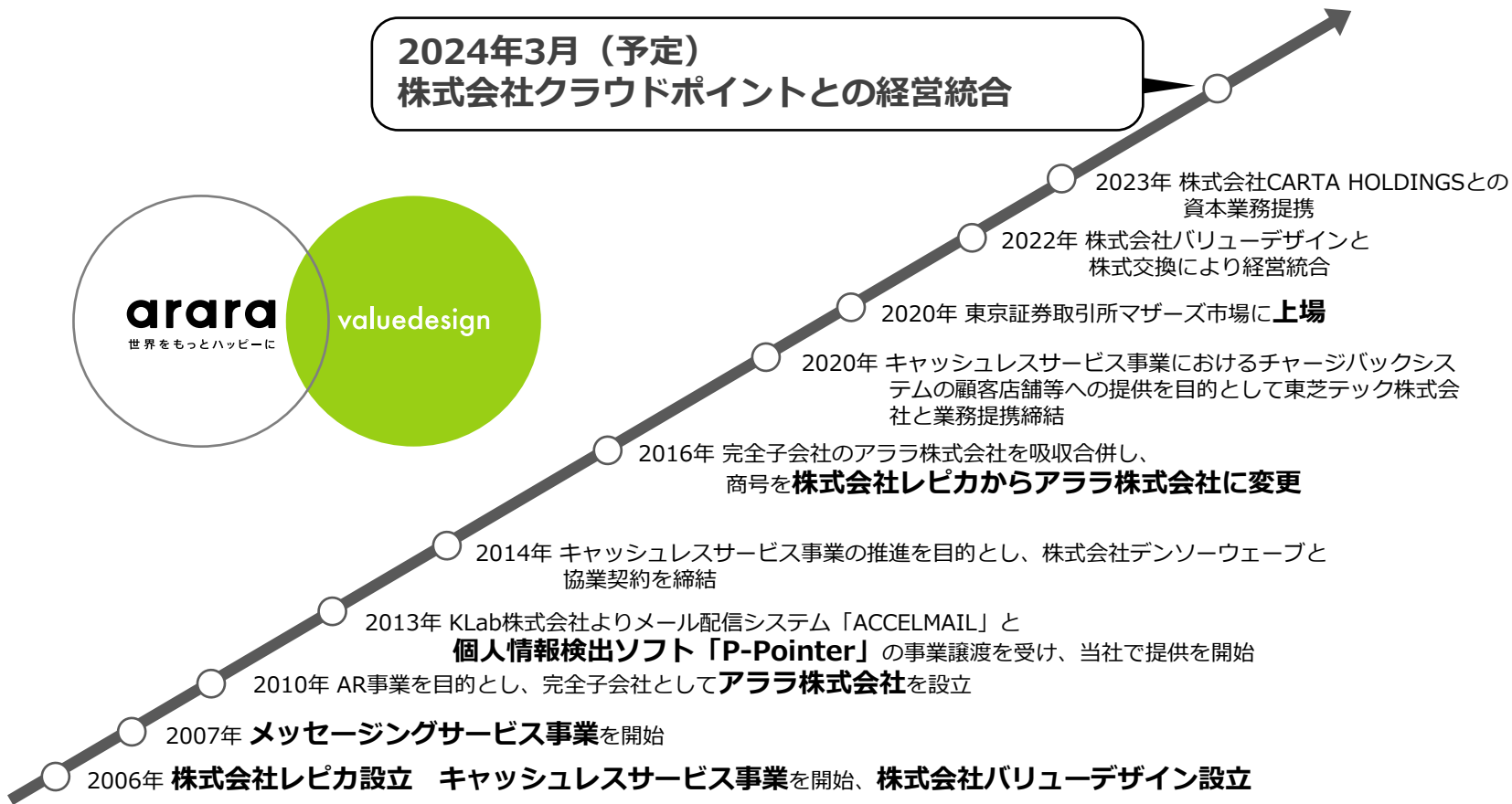
1. 連結業績及びビジネス概況
2. 決算ハイライト
3. 来期計画について
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix



会社名	アララ株式会社			
代表者	代表取締役会長	岩井 陽介	代表取締役社長	尾上 徹
設立年月日	2006年8月			
役員構成	代表取締役会長	岩井 陽介	社外取締役	金子 毅
	代表取締役社長	尾上 徹	社外取締役	加藤 徹行
	取締役副社長	井上 浩毅	社外取締役	井上 昌治
	取締役	林 秀治	社外取締役	種谷 信邦
			社外取締役	米田 恵美
本社所在地	東京都港区南青山二丁目24番15号 青山タワービル別館			
資本金	1,001百万円 (2023年8月末時点)			

会社名	株式会社バリューデザイン		
代表者	代表取締役社長	林 秀治	
設立年月日	2006年7月		
本社所在地	東京都中央区京橋三丁目1番1号 東京スクエアガーデン14階		
資本金	100百万円 (2023年8月末時点)		
株主	アララ株式会社 (100%)		





## 重要指標等の定義

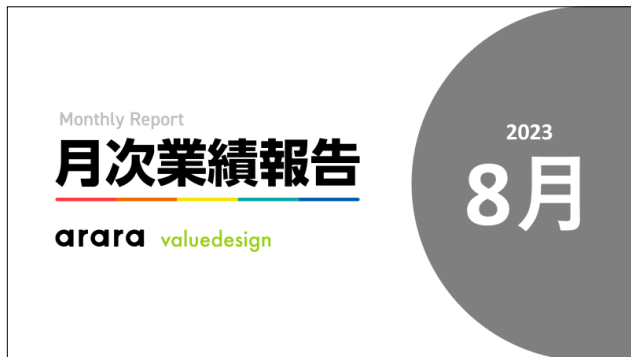
カテゴリ	用語	定義
重要指標	決済額	独自Payにおいて、アララ及びバリューデザインの決済額の合計
	顧客社数・導入企業数	当社のサービスを活用している顧客の数
	EBITDA	利払い前・税引前・減価償却前・その他償却前利益
	顧客	当社のサービスを活用する企業
	エンドユーザー	当社サービスを利用する最終消費者
	リカーリング売上	継続的なサービス提供等により、長期的に収益を得られる売上
	SaaS (Software as a Service)	クラウドサーバーにあるソフトウェアを、インターネットを經由して利用できるサービス
キャッシュレスサービス	独自Pay	キャッシュレスサービスを利用し、顧客が店舗の常連客向けに提供する特典や優遇サービス
	アララ キャッシュレス	独自Payの発行から販促、各種分析機能等をサポートする統合型キャッシュレス支援サービス
	チャージバック	メーカーの販促費を、エンドユーザーと顧客に独自Payで還元する販促サービス
	クルクル	QRコードを介して顧客の店舗が消費者へコンタクトできる情報配信サービス
	Value Card	キャンペーン提案からオペレーションまでサポートする独自ブランドのクラウド型電子マネー発行サービス
	Value Insight	POSの購買情報やアプリの利用動向等のデータを統合・分析するSaaS型のデジタルマーケティングツール
	Value Gift	メールやSNS等を通じてデジタル化された残高情報を送付できるデジタルコード発行サービス
	Value Wallet	独自Pay機能を搭載した店舗オリジナルアプリ
	Value Gateway	独自Payと同時に、各種QR等コード決済サービスの導入をサポートするサービス
	ディストリビューション機能	直接顧客には販売せず、販売チャネルへサービスを卸す機能
ソリューション	アララ メッセージ	到達率向上・自動化・効果測定により円滑なメールマーケティングを実現するメール配信システム
	P-Pointer	PCやファイルサーバ内に点在する個人情報ファイルを検出する個人情報検出ツール

## 月次報告・メディアでの発信

2022年10月より、ホームページ上で月次業績報告の開示を開始。

四半期ごとの決算説明をIRTVにて公開。X（旧Twitter）にて公式チャンネルや副社長の井上による情報発信を行っております。

### 月次業績報告



### メディア・SNSでの発信



アララ【公式】  
X（旧Twitter）  
@arara\_inc



アララ副社長 井上  
X（旧Twitter）  
@hao\_inoue

本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望にも言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在しております。

既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、当記述を作成した時点において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものです。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等に基づいております。